

First Trust Limited Duration Investment Grade Corporate ETF  
ファーストトラスト リミテッドデュレーション投資適格社債 ETF

**交付運用報告書**

2023年10月31日に終了する計算期間

免責事項

この交付運用報告書は、2023年10月31日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、この交付運用報告書及び上記 Annual Report との間に齟齬が生じた場合、上記 Annual Report が優先されることにご留意下さい。

- (注) 1. 本書に記載の「ドル」又は「\$」という用語は、別段の記載がある場合を除き米ドルを指します。また、本書に記載の金額のうち通貨単位の記載がないものは、別段の記載がある場合を除きその通貨単位は米ドルです。
2. 本書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。

2024年8月15日

金融庁長官 殿

発行者

受益証券発行者名	ファースト・トラスト・エクスチェンジ・トレーデッド・ファンドIV (First Trust Exchange-Traded Fund IV)
----------	---

代表者の役職氏名	プレジデント兼チーフ・エグゼクティブ・オフィサー ジェームズ・エム・ディカス (James M. Dykas, President and Chief Executive Officer)
----------	--

本店の所在地	アメリカ合衆国、イリノイ州、ウィートン、イースト・リバティー・ドライブ 120 番地 400 号室 (120 East Liberty Drive, Suite 400, Wheaton IL 60187, United State of America)
--------	---

代理人の氏名又は名称	弁護士 樋 口 航
------------	-----------

代理人の住所又は所在地	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
-------------	---

事務連絡者氏名	弁護士 樋 口 航
---------	-----------

事務連絡場所	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
--------	---

電話番号	(03)6775-1142
------	---------------

外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載  
した書面

(交付運用報告書)

投資信託及び投資法人に関する法律第59条において準用する同法第14条第4項及び第6項の規定により外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面（交付運用報告書）を提出します。この報告書の記載事項は、事実と相違ありません。

## 本書の記載事項の説明

### 1. 運用方針

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」を参照。

### 2. 計算期間中における資産の運用の経過

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

### 3. 運用状況の推移

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

### 4. 計算期間の末日における純資産及び基準価額の状況

「貸借対照表」、「損益計算書」、「純資産変動計算書」及び「財務ハイライト」等を参照。

### 5. 信託報酬その他の手数料等

「ファンドの費用（未監査）」及び「損益計算書」等を参照。

### 6. 投資の対象とする有価証券等の主な銘柄

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」等を参照。

### 将来予想に関する記述についての注意事項

本報告書には、1933年証券法（その後の改正を含みます。）及び1934年証券取引所法（その後の改正を含みます。）の意味における一定の将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）及びその代表者の目標、信念、計画、又は現在彼らに利用可能な情報を考慮した現在の期待に関する声明が含まれます。将来予想に関する記述には、現在又は歴史的事実にのみ関連しないすべての記述が含まれます。例えば、将来予想に関する記述には、「予期する」、「見積もる」、「意図する」、「期待する」、「信じる」、「計画する」、「かもしれない」、「するはずである」、「するだろう」など、将来の出来事や結果の不確実性を伝える言葉の使用が含まれます。（

将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれ、これらの要因が、本報告書で述べられているファーストトラスト・エクステンジッド・トレーデッド・ファンド IV（以下「本ファンド」といいます。）のシリーズ（ファーストトラスト リミテッドデュレーション投資適格社債 ETF。以下「本ファンド」といいます。）の実際の結果、業績、又は成果が、将来予想に関する記述によって表明又は暗示される結果、業績、又は成果と大幅に異なる可能性があることを意味します。この報告書に含まれる情報を評価するには、これらの将来予想に関する記述に過度に依存しないよう注意してください。これらはアドバイザー及びその代表者の判断を、ここに記載された日付の時点でのみ反映しています。私たちは、ここに記載された日付以降に生じる出来事や状況を反映して、これらの将来予想に関する記述を公に改訂又は更新する義務を負いません。

### パフォーマンス及びリスク開示

本ファンドがその投資目的を達成するという保証はありません。本ファンドは市場リスクに曝されています。これは、本ファンドが所有する証券の市場価値が減少し、その結果、本ファンドのシェアの価値があなたの支払った価格よりも低くなる可能性があることを意味します。

引用されているパフォーマンスデータは過去の実績を表しており、これは将来の結果の保証ではありません。現在のパフォーマンスは、示されている数値よりも低いか高いかかもしれません。最新の月末パフォーマンスデータについては、[www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com) をご覧になるか、又は財務アドバイザーにお聞きください。投資収益、純資産価値、及びシェア価格は変動し、本ファンドのシェアは売却時に、その元のコストよりも価値が高い可能性もありますが、低い可能性もあります。

アドバイザーは、本ファンドのウェブページ（[www.ftportfolios.com](http://www.ftportfolios.com)）で、定期的に本ファンドのパフォーマンスに関する追加情報を提供することがあります。

### 本報告書の読み方

本報告書には、本ファンドへの投資を評価するのに役立つ情報が含まれています。本ファンドに関する詳細な情報が含まれており、本ファンドのパフォーマンスや投資アプローチに関するインサイトを提供するデータや分析が提示されています。

本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームによるポートフォリオの解説を読めば、市場環境が本ファンドのパフォーマンスにどのように影響したかを理解できるでしょう。続く統計情報は、本ファンドのパフォーマンスが関連する市場ベンチマークと比較してどのようなものであったかを理解するのに役立つかもしれません。

アドバイザーの人員によって表明された意見は、あくまで情報に基づいた彼らの意見であることを念頭に置くことが重要です。これらの意見を約束や助言と考えるべきではありません。意見は、統計と同様に、本報告書の表紙の日付までの期間をカバーしています。本ファンドへの投資に伴う主要なリスクは、目論見書、追加情報のステートメント、及びその他の本ファンドの規制関連の提出書類に明記されています。

## ファンドのパフォーマンス概要（未監査）

ファーストトラスト リミテッドデュレーション投資適格社債 ETF（以下「本ファンド」といいます。）の主な投資目的は、経常的な収益を上げることです。本ファンドは、通常の市場環境下では、純資産（及び投資目的の借入れ）の少なくとも80%を投資適格の社債券に投資することにより目的を達成することを目指します。社債券とは、企業が事業運営に充てるために発行する負債証券です。ノート、債券、ローン、ディベンチャーやコマーシャルペーパーが最も一般的な種類の社債券であり、主な違いは満期と担保の有無です。コマーシャルペーパーは最も期間が短く、通常は無担保です。社債券には固定金利又は変動金利が付される場合があります。本ファンドが投資できる社債券には、シニアローンやコバンツ・ライト・ローンが含まれる場合があります。

本ファンドの純資産の少なくとも80%は、社債券を格付けする少なくとも1社の全米で認知された統計的格付機関（以下「NRSRO」といいます。）により購入時に投資適格（すなわち、Baa3/BBB-以上の格付け）とされている社債券、又は格付けが付与されていない場合は本ファンドの投資アドバイザーが同等の信用力を有すると判断した負債証券に投資されます。1社以上のNRSROの間で格付けが分かれた場合、本ファンドは最も高い格付けを考慮します。無格付けの有価証券が投資適格と判断されるためには、本ファンドの投資アドバイザーは、当該無格付けの有価証券とNRSROにより格付けされる同等の有価証券の基本的な信用分析に基づいて当該有価証券が同等の信用力を有するかどうかを購入時に考慮します。

本ファンドは主に投資適格の社債券に投資する方針ですが、純資産（及び投資目的の借入れ）の20%を上限として、いかなる信用力の負債証券（ハイイールド証券としても知られている、又は一般に「ジャンク」債と呼ばれている投資適格未満のシニアローンやその他の負債証券、あるいは本ファンドの投資アドバイザーが格付けのある投資適格証券と同等の信用力を有するとは判断していない無格付けの有価証券を含みます。）にも投資することができます。本ファンドは、1940年投資会社法（その後の改正を含みます。）上の「非分散型」に分類されます。本ファンドによる投資は、金融セクターを構成する産業又は産業グループに集中（すなわち、本ファンドの資産の25%超が投資）されます。

## パフォーマンス

	平均年間		累積
	トータルリターン	トータルリターン	
	2023年10月31日に終了した1年間	設立（2021年11月17日）から2023年10月31日までの期間	設立（2021年11月17日）から2023年10月31日までの期間
<b>ファンドのパフォーマンス</b>			
NAV	3.68%	-1.46%	-2.84%
市場価格	3.56%	-1.44%	-2.79%
<b>インデックスのパフォーマンス</b>			
Bloomberg US Corporate Bond 1-5 Year Index	4.22%	-1.95%	-3.82%

(1) 2023年1月3日、本ファンドが保有するシニアローン投資の評価に用いられる公正価値評価方法が変更されました。同日前は、プライシングサービスから提供されるビッドサイドの価格を用いてシニアローンが評価されていました。同日後は、プライシングサービスから提供されるビッド価格とアスク価格の仲値を用いてシニアローンが評価されています。2023年1月3日に行われた本ファンドの公正価値評価方法の変更により、同日に本ファンドの純資産価額が一時的にシェア1口当たり約0.003ドル増加しましたが、これは本ファンドのパフォーマンスに0.01%のプラスの影響を与えたこととなります。プライシング方法の変更は、2023年10月31日に終了した期間のNAVベースでの本ファンドのパフォーマンスにはほとんど影響しませんでした。

設立以来の期間におけるトータルリターンは、本ファンドの設立日から計算されます。「平均年間トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の平均年間変化率を表します。「累積トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の総変化率を表します。アドバイザーが一定の手数料を免除していなければ、トータルリターンはさらに低くなっていました。

本ファンドのシェア1口当たり純資産価額（以下「NAV」といいます。）は、本ファンドのシェア1口の価値であり、本ファンドのすべての資産（未収利息や配当を含みます。）の価値から、すべての負債（未払費用や宣言されている未払いの配当を含みます。）を差し引いて、発行済みシェア総数で割って算出されます。市場リターンを計算するために使用される価格（以下「市場価格」といいます。）は、本ファンドのNAVが計算される時点での全米で最良のビッド価格とオファー価格の仲値（以下「NBBO」といいます。）を用いて決定されます。証券取引委員会の規則によると、NBBOは、本ファンドのNAVが計算される時点で本ファンドを取引している各取引所の中で最も高い買い価格と最も低い売り価格から構成されます。本ファンドのシェアが本ファンド設立後まで流通市場で取引されなかったため、設立から本ファンドのシェアが流通市場で取引される最初の日までの期間においては、本ファンドのNAVを流通市場の取引価格に代わるものとして使用し、市場リターンを

計算します。NAV及び市場リターンには、すべての分配金がNAVと市場価格で本ファンドに再投資されたと仮定しています。

インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。また、市場リターンには、流通市場取引に関して支払義務が生じる可能性のある仲介手数料は含まれていません。仲介手数料が含まれる場合、市場リターンは低くなります。表示されているトータルリターンは、インデックス内の証券における配当の再投資を反映しています。表示されているリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。本ファンドのシェアの投資リターンと元本価値は、市場状況の変化に伴って変動します。本ファンドのシェアは、償還される際や市場で売却される際に、元のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

産業区分	長期投資総額 に占める割合 (1)
金融	22.8%
テクノロジー	14.7
ヘルスケア	12.3
健康保険	6.8
食品・飲料	6.4
不動産&損害保険	5.1
医薬品	4.9
ワイヤレス	3.8
環境	3.7
ケーブルサテライト	3.5
電気	3.4
仲介業者、資産運用会社、取引所	2.4
建設機械	1.4
ワイヤーライン	1.2
梱包	1.1
航空宇宙/防衛	0.8
その他の公益事業	0.8
小売業者	0.8
化学製品	0.8
ゲーム	0.7
景気連動型消費財サービス	0.5
宿泊	0.5
建設資材	0.4
消費財	0.4
総合製造業	0.3
飲食店	0.2
ミッドストリーム	0.2
製紙	0.1
合計	100.0%

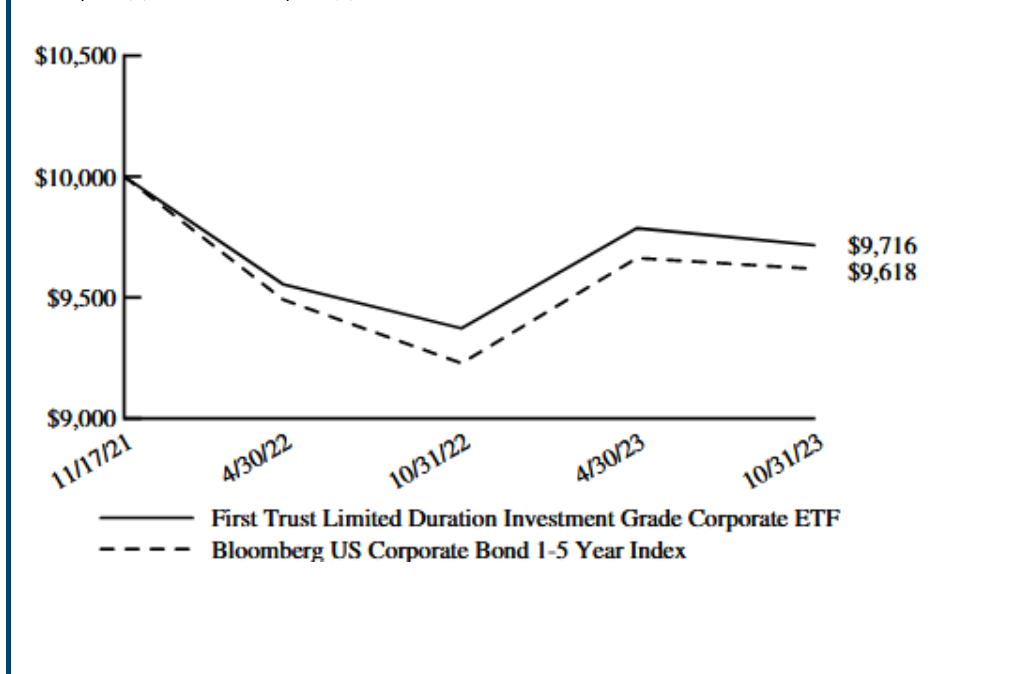
資産区分	長期投資総額 に占める割合 (1)
社債及びノート	86.6%
外国社債及びノート	8.5
シニア変動金利ローン持分	4.9
合計	100.0%

信用力(2)	シニアローン及 びその他の負債 証券に占める割 合(1)
AA	2.5%
AA-	11.6
A+	7.1
A	12.8
A-	17.2
BBB+	14.8
BBB	13.9
BBB-	17.5
BB+	0.8
BB	0.9
BB-	0.9
合計	100.0%

発行体上位 10 社	長期投資に占め る割合(1)
JPMorgan Chase & Co.	3.3%
Bank of America Corp.	3.2
Morgan Stanley	2.9
IQVIA, Inc.	2.3
Oracle Corp.	2.0
State Street Corp.	2.0
Elevance Health, Inc.	2.0
T-Mobile USA, Inc.	1.9
The Goldman Sachs Group, Inc.	1.9
Brown & Brown, Inc.	1.8
合計	23.3%

- (1) 割合は長期ポジションに基づきます。コマーシャルペーパーを除きます。
- (2) 格付けは、1 社以上の全米で認知された統計的格付機関 (NRSRO) (S&P グローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク、フィッチ・レーティングス、又は同等の格付けを有する NRSRO を含みます。)によるものです。ある有価証券が複数の NRSRO により格付けされ、その格付けが同等でない場合は、最も高い格付けが使用されます。格付けは、一般に長期格付けが AAA から D、短期格付けが A-1 から C の尺度により、最上位から最下位まで測定されます。投資適格とは、長期信用格付けが BBB-以上又は短期信用格付けが A-3 以上の発行体として定義されます。表示されている信用格付けは、本ファンドの原証券の発行体の信用力に関するものであり、本ファンドやそのシェアに関するものではありません。信用格付けは変更される場合があります。

10,000 ドルの初期投資のパフォーマンス  
2021年11月17日-2023年10月31日



パフォーマンスの数値は、すべての分配金の再投資を前提としており、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを予想するものではありません。

#### ディスカウントとプレミアムの頻度分布

本ファンドのシェアの市場価格が本ファンドの純資産価額より高い（プレミアム）又は低い（ディスカウント）日数を示す情報は、直近の年度及びそれ以降の直近の暦四半期（又は本ファンドの存続期間が短い場合はその期間）について、<https://www.ftportfolios.com/Retail/etf/home.aspx> で入手できます。



## ポートフォリオの解説（未監査）

### アドバイザー

ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）が本ファンドの投資アドバイザーです。ファーストトラストは、本ファンドの投資ポートフォリオを選定して継続的に監視し、本ファンドの業務を管理し、本ファンドの運用に必要な一定の事務管理業務を提供する責任を負います。

### ポートフォリオ・マネジメント・チーム

以下の者が本ファンドのポートフォリオ・マネジャーを務めています。

ウィリアム・ハウジー、CFA—ファーストトラストの債券部門マネージング・ディレクター兼シニア・ポートフォリオ・マネジャー

トッド・ラーソン、CFA—ファーストトラストのシニア・バイスプレジデント兼ポートフォリオ・マネジャー

エリック・R・メイゼル、CFA—ファーストトラストのシニア・バイスプレジデント兼ポートフォリオ・マネジャー

ジェフリー・スコット、CFA—ファーストトラストのシニア・バイスプレジデント兼ポートフォリオ・マネジャー

ネイサン・サイモンズ、CFA—ファーストトラストのバイスプレジデント兼ポートフォリオ・マネジャー

スコット・スコウロンスキー、CFA—ファーストトラストのシニア・バイスプレジデント兼ポートフォリオ・マネジャー

ポートフォリオ・マネジャーは、本ファンドの日々の運用に第一義的に、かつ共同で責任を負います。ウィリアム・ハウジー、トッド・ラーソン、エリック・R・メイゼル、ジェフリー・スコット及びネイサン・サイモンズは、2021年11月より本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームの一員となっています。スコット・スコウロンスキーは、2022年11月より本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームの一員となっています。

## 解説

### 市場動向

2023年10月31日に終了した12カ月間の初めの時点で、連邦準備制度理事会（以下「FRB」といいます。）が2.0%のインフレ目標へのコミットメントを繰り返す中、2023年11月の消費者物価指数は前年同期比7.1%増とインフレが高止まりしていました。この時点におけるフェデラルファンド金利誘導目標の上限は3.25%でした。しかしながら、FRBの2023年12月の連邦公開市場委員会（以下「FOMC」といいます。）の会合までに、同委員会は5.00～5.25%という想定を上回る最終的なフェデラルファンド金利誘導目標を予想し、インフレが低水準にとどまるという確信がFRBにないことを示唆しました。FOMCは、2023年7月の会合で金利誘導目標を5.25～5.50%に再び引き上げ、インフレ緩和の試みを続けました。2023年9月の会合では金利誘導目標を据え置き、本年と来年の経済成長見通しを上方修正する一方、2024年の利下げ予想を引き下げました。これが報告期間の最後数週間におけるイールドの上昇、スプレッド・ボラティリティの増大及び株価下落の契機となりました。

2023年10月31日に終了した12カ月間の10年物米国財務省証券利回りは、4.05%から4.93%へと88ベース・ポイント上昇しました。S&P500<sup>®</sup>Indexは2023年第2四半期末に4,500近辺で取引され、2023年10月の底値を1,000ポイント近く上回りましたが、2023年10月31日のS&P500<sup>®</sup>Indexは4,194で取引を終え、2023年10月31日に終了した12カ月間のリターンは10.14%となりました。

### 本ファンドのパフォーマンス

2023年10月31日に終了した12カ月間の本ファンドのリターンは、純資産価額（以下「NAV」といいます。）ベースで3.68%、市場価格ベースでは3.56%でした。Bloomberg US Corporate Bond 1-5 Year Index（以下「ベンチマーク」といいます。）のリターンは、同期間中は4.22%でした。

逆イールドカーブと金利ボラティリティの上昇によりデュレーション延長のタイミングが複雑になったため、デュレーションは同期間中のパフォーマンスにとって最大の逆風となりました。本ファンドは、金融、小売及びエネルギーの各セクターのアンダーウェイトに対して景気非連動型消費財、保険及びテクノロジーの各セクターにオーバーウェイト配分を行いつつ、期中はディフェンシブ・セクターのポジショニングを維持しました。セクター内のディフェンシブなポジショニングはパフォーマンスにとって逆風となりましたが、金利感応度の低下とキャリアの上昇による恩恵を受けたタームローンに対してアンダーウェイトな社債であることにより十分に相殺されました。食品・飲料、ヘルスケア、医薬品及びテクノロジーの各セクターにおける強固な銘柄選択は、金融セクター内の大手米銀に対する高格付けを意識したポジショニングにより若干相殺されたに過ぎませんでした。

### 市場の見通し

我々のマーケットの見方は、FRBの利上げサイクルが終わりに近づいているという認識が軸となっています。FRBは追加利上げについて市場にリークするかもしれませんが、今の債券市場は収益と金利リスクに関して言えばはるかにバランスが取れていると思われます。高い利回りは今後も債券のプラスのリターンを支え続けます。しかしながら、投資家は景気後退の可能性

と時期を見極めようとしているため、市場のボラティリティが続くことが予想されます。したがって、景気連動性が限定的なセクターでディフェンシブなポジショニングを取りつつ信用の質を高めることを我々は志向しています。評価が改善したことでコーポレート・クレジット市場に魅力的な機会が生まれたと我々は認識しており、そうした市場の機会を評価する際は、引き続きボトムアップ型のクレジット・アンダーライティング・プロセスとリスク管理に対する厳格なアプローチを採用します。

## ファンドの費用（未監査）

本ファンドのシェア保有者は、2種類のコストを負担します。すなわち、（1）取引コスト、及び（2）継続的な費用です。これには運用手数料、販売手数料及び/又はサービス（12b-1）手数料（該当する場合）、及びその他のファンド費用が含まれます。この例は、本ファンドへの投資に伴う継続的な費用を理解し、これらの費用を他のファンドへの投資の継続的な費用と比較するのに役立つことを目的としています。

この例は、期間の初めに投資され、2023年10月31日に終了した6カ月の期間を通じて保有された1,000ドルの投資に基づいています。

### 実際の費用

以下の表の最初の行は、実際の口座の価値と実際の費用に関する情報を提供します。この行の情報とあなたが投資した金額を併せて使用することで、その期間に支払った費用を推定することができます。単にあなたの口座の価値を1,000ドルで割ります（例えば、8,600ドルの口座価値を1,000ドルで割ると8.6になります）。その結果に、「6カ月間に支払われた費用」という見出しの最初の行の数字を掛けることで、この6カ月間にあなたの口座で支払った費用を推定できます。

### 比較目的の仮想例

以下の表の2行目は、本ファンドの実際の費用比率及び費用控除前の仮定された年間リターン5%を基にした仮想の口座価値と仮想費用に関する情報を提供します。これは本ファンドの実際のリターンではありません。この仮想の口座価値と費用は、期間の実際の最終口座残高や支払った費用を推定するために使用することはできません。この情報を使用して、本ファンドや他のファンドへの投資にかかる継続的なコストを比較することができます。これを行うには、この5%の仮想例を他のファンドのシェア保有者報告書に記載されている5%の仮想例と比較してください。

表に示されている費用は、継続的なコストのみを強調するためのものであり、仲介手数料などの取引コストは反映されていないことにご注意ください。したがって、表の2行目は継続的なコストの比較にのみ役立ち、異なるファンドを所有する際の相対的な総コストを判断するには役立ちません。さらに、これらの取引コストが含まれていた場合、あなたのコストはより高くなっていたでしょう。

	2023年5月1日 時点の口座 価値	2023年10月31日 時点の口座 価値	6カ月間に基 づく年間費用 比率(a)	6カ月間に支払 われた費用 (b)
<b>ファーストトラスト リミテッドデュレーション投資適格社債 ETF (FSIG)</b>				
実際	\$1,000.00	\$ 992.70	0.45%	\$2.26
仮定（費用控除前のリターンが5%）	\$1,000.00	\$1,022.94	0.45%	\$2.29

(a) これらの費用比率は費用の免除を反映しています。

(b) 費用は、表に示された年間費用比率に期間中の平均口座価値（2023年5月1日から2023年10月31日まで）を掛けたものであり、さらに184/365（6ヶ月間を反映するため）を掛けたものに等しいです。

## 貸借対照表

2023年10月31日

## 資 産:

投資（評価額） .....	\$770,704,179
現金 .....	648,180
受取勘定:	
利息 .....	9,123,978
売却されたシェア .....	1,824,994
資産合計 .....	<u>782,301,331</u>

## 負 債:

投資顧問料 .....	289,360
負債合計 .....	<u>289,360</u>
純資産 .....	<u>\$782,011,971</u>

## 純資産の内訳:

払込資本 .....	\$801,881,983
額面価額 .....	428,500
分配可能利益（損失）累計額 .....	(20,298,512)
純資産 .....	<u>\$782,011,971</u>
シェア1口当たり純資産価額 .....	<u>\$18.25</u>
発行済シェア数（授権数の制限なし/シェア1口当たりの額面価額0.01ドル） .....	<u>42,850,002</u>
投資（取得額） .....	<u>\$789,233,655</u>

## 損益計算書

2023年10月31日に終了した年度について

## 投資利益:

利息.....	25,939,915
配当.....	76,066
投資利益合計.....	<u>26,015,981</u>

## 費用:

投資顧問料.....	2,822,588
費用合計.....	2,822,588
投資顧問が放棄した報酬控除額.....	(513,198)
正味費用.....	<u>2,309,390</u>
正味投資利益（損失）.....	<u>23,706,591</u>

## 実現及び未実現の正味利益（損失）:

投資に係る正味実現利益（損失）.....	(1,348,638)
投資に係る未実現増価（減価）の正味変動額.....	<u>(17,946,468)</u>
実現及び未実現の正味利益（損失）.....	<u>(19,295,106)</u>
運用による純資産の正味増加（減少）額.....	<u>\$4,411,485</u>

## 純資産変動計算書

	2023年10月31日に 終了した年度	2022年10月31日に 終了した期間 <sup>(a)</sup>
<b>運用:</b>		
正味投資利益（損失） .....	\$23,706,591	\$248,834
正味実現利益（損失） .....	(1,348,638)	(434,326)
未実現増価（減価）の正味変動額 .....	(17,946,468)	(583,008)
運用による純資産の正味増加（減少）額 .....	4,411,485	(768,500)
<b>シェア保有者への分配の原資:</b>		
投資運用 .....	(23,837,001)	(233,551)
<b>シェア保有者取引:</b>		
シェア売却手取金 .....	794,172,031	24,179,235
交換済シェア費用 .....	(9,276,174)	(6,635,554)
シェア保有者取引による純資産の正味増加（減少）額 .....	784,895,857	17,543,681
純資産の増加（減少）額合計 .....	765,470,341	16,541,630
<b>純資産:</b>		
期首 .....	16,541,630	—
期末 .....	\$782,011,971	\$16,541,630
<b>発行済シェア数の変動:</b>		
期首における発行済シェア数 .....	900,002	—
売却されたシェア数 .....	42,450,000	1,250,002
交換されたシェア数 .....	(500,000)	(350,000)
期末における発行済シェア数 .....	42,850,002	900,002

(a) 本ファンドの開始日は2021年11月17日であり、これは投資運用の開始と一致し、最初のクリエーション・ユニットが設定された日です。

## 財務ハイライト

## 各計算期間中の発行済シェア 1 口について

	2023 年 10 月 31 日に 終了した年度	2022 年 10 月 31 日に 終了した期間 <sup>(a)</sup>
期首における純資産価額 .....	\$18.38	\$20.00
<b>投資運用による利益:</b>		
正味投資利益 (損失) .....	0.85 <sup>(b)</sup>	0.39
実現及び未実現の正味利益 (損失) .....	(0.17)	(1.64)
投資運用による合計額 .....	0.68	(1.25)
<b>シェア保有者への分配の原資:</b>		
正味投資利益 .....	(0.81)	(0.37)
期末における純資産価額 .....	\$18.25	\$18.38
トータルリターン <sup>(c)</sup> .....	3.68%	(6.28) %
<b>平均純資産に対する比率/補足データ:</b>		
期末における純資産 (千単位) .....	\$782,012	\$16,542
平均純資産に対する費用合計の比率 .....	0.55%	0.55% <sup>(d)</sup>
平均純資産に対する正味費用の比率 .....	0.45%	0.45% <sup>(d)</sup>
平均純資産に対する正味投資利益 (損失) の比率...	4.62%	2.33% <sup>(d)</sup>
ポートフォリオ・ターンオーバー比率 <sup>(e)</sup> .....	38%	113%

- (a) 本ファンドの開始日は 2021 年 11 月 17 日であり、これは投資運用の開始と一致し、最初のクリエーション・ユニットが設定された日です。
- (b) 平均発行済シェアを基準としています。
- (c) トータルリターンは、当初投資が期首の純資産価額で行われ、すべての分配が期中の純資産価額で再投資され、当該期間の最終日に純資産価額で交換 (redemption) がなされる、という前提で計算されています。表示されたリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの交換 (redemption) 又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。トータルリターンは表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。仮に投資顧問により一部の報酬が放棄されず、費用の払戻しがなされなかったとすると、トータルリターンはこれを下回ることとなります。
- (d) 年換算されています。
- (e) ポートフォリオ・ターンオーバー比率は、表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。また、設定 (creation) や交換 (redemption) の処理及び現物取引により受領又は交付された有価証券を含みません。